



I. 戦略性が高く意欲的な取組

「博士課程教育リーディングプログラム」の実施

【大学の機能強化に向けて、「国際的に卓越した教育研究拠点機能の充実」を推進する取組】

重粒子線治療・関連産業をけん引する優れたグローバルリーダーを養成する「重粒子線医工学グローバルリーダー養成プログラム」を「博士課程教育リーディングプログラム」として実施

平成23年度は、医学・工学融合型の「リーディングプログラム重粒子線医工連携コース」を設置し、平成24年度からの学生受入に向けたカリキュラムを整備

《中期目標》

I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標

1 教育に関する目標

(1) 教育内容及び教育の成果等に関する目標

(ii) 大学院課程

高い倫理観と豊かな学識に立脚し、実践力を有する高度専門職業人及び創造的能力を備えた研究者を養成する。

《中期計画》

② 専門分野の最先端までの知識と技能を修得させるとともに、課題探求・問題解決能力等の高度な研究能力を養成する教育を展開する。高度専門職業人を目指す者は、修得した能力を実践に活かせるよう、研究者を目指す者は、自立して創造的研究活動ができるよう指導する。

ポストドクター・インターンシップ推進事業

【大学の機能強化に向けて、「高度な専門職業人の養成や専門教育機能の充実」を推進する取組】

文部科学省の「科学技術人材育成費補助事業」として採択され、「ポストドクター支援体制の強化による実践的な人材育成」を実施

平成23年度は、ポストドクターに対し、長期インターンシップや企業との交流会等の場を提供し、企業内での様々な業務、例えば、経営、研究、開発、知財管理、国際的共同事業など、に適応した人材の育成を行うとともに、ポストドクターのキャリアパスを構築するため、研究・産学連携戦略推進機構に「高度人材育成センター」を設置することを決定

《中期目標》

I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標

1 教育に関する目標

(1) 教育内容及び教育の成果等に関する目標

(ii) 大学院課程

高い倫理観と豊かな学識に立脚し、実践力を有する高度専門職業人及び創造的能力を備えた研究者を養成する。

《中期計画》

② 専門分野の最先端までの知識と技能を修得させるとともに、課題探求・問題解決能力等の高度な研究能力を養成する教育を展開する。高度専門職業人を目指す者は、修得した能力を実践に活かせるよう、研究者を目指す者は、自立して創造的研究活動ができるよう指導する。

重粒子線臨床研究の推進

【国立大学としては国内唯一であり、先駆的・先導的な取組】

平成23年度は、重粒子線照射のがん治療における有効性のエビデンスを確立するための研究を開始

また、治療の高度化を図るため、脳組織などの正常組織や各種腫瘍に対する重粒子線の生物効果に関する基礎的研究を進めるとともに、専用実験ポートを使用した生物実験を開始し、高精度炭素イオンマイクロサージェリー治療技術の開発を目指す研究を推進

《中期目標》

I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標

2 研究に関する目標

(1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標

- ① 各専門分野において独創的な研究を世界水準で展開するとともに、本学の伝統をなす実践的、実学的研究と基礎的諸科学との融合を図り、学際的研究分野を進展させる。

《中期計画》

- ①—2) 本学の特色を活かし、優れた研究教育拠点の形成を見込むことのできる研究をプロジェクト型研究として設定し、重点的に推進する。

ケイ素・炭素を基軸とする新規学術分野の創成（エレメント・イノベーション）

【大学の機能強化に向けて、「大学の特性を生かした多様な学術研究機能の充実」を推進する取組】

社会に直結した未来材料・技術を創出するため、新規学術分野・元素機能相関科学を創成する研究を実施

平成23年度は、事業全体の推進・情報発信・活動評価など、より広範囲に本事業の円滑な推進を行うための組織として「エレメント・イノベーション推進室」を設置

また、四半期ごとに事業担当者及びプロジェクトに参加する大学院生によるセミナーを実施

「第1回エレメント・イノベーション国際会議」を開催し、研究成果の発表などを行い、年度末には成果報告会を実施し、進捗状況を点検・評価

《中期目標》

I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標

2 研究に関する目標

(1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標

- ① 各専門分野において独創的な研究を世界水準で展開するとともに、本学の伝統をなす実践的、実学的研究と基礎的諸科学との融合を図り、学際的研究分野を進展させる。

《中期計画》

- ①—2) 本学の特色を活かし、優れた研究教育拠点の形成を見込むことのできる研究をプロジェクト型研究として設定し、重点的に推進する。

デジタルを活かすアナログナレッジ養成拠点

【大学の機能強化に向けて、「地域貢献機能の充実」を推進する取組】

文部科学省の「科学技術戦略推進補助事業」の支援を受け、自治体・地元企業と連携したアナログナレッジの養成プログラムを実施

平成23年度は、基礎知識を得る「座学講座」を7講座、実習実験を重視する「実習講座」を3講座、受講後のフォローアップ及び社内開発で抱える課題を講師と1対1で解決する「アナログ工房講座」を3講座開設し、426名が受講

《中期目標》

- I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標
- 3 その他の目標
 - (1) 社会との連携や社会貢献に関する目標
 - ② 産学官連携活動を一層推進し、研究成果の社会還元を行うなど、社会の多様なニーズに応える。

《中期計画》

- ② 研究・産学連携戦略推進機構を中心に、産学連携活動と知的財産の技術移転活動を推進する。

重粒子線治療

【国立大学としては国内唯一であり、先駆的・先導的な取組】

22年度は約90名、23年度は214名に対し、前立腺、頭頸部、肺、肝臓、骨軟部などの腫瘍に対する治療を実施

平成23年度は、適応疾患拡大を図るため、リンパ節再発、小児がんなどの新規治療プロトコールを作成

《中期目標》

- I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標
- 3 その他の目標
 - (3) 附属病院に関する目標
 - 患者中心の医療を推進し、安心・安全で質の高い医療を提供する。

《中期計画》

- ③ 重粒子線がん治療に向けて体制を整備し、臨床運用する。

グローバルCOEプログラム

【大学の機能強化に向けて、「国際的に卓越した教育研究拠点機能の充実」を推進する取組】

秋田大学との連携により、生活習慣病などの原因を探るため、国内外を通じた拠点として世界トップレベルの研究を実施

平成23年度は、最終シンポジウムを開催し、研究成果を発表

《中期目標》

- I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標
- 2 研究に関する目標
- (1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標

- ① 各専門分野において独創的な研究を世界水準で展開するとともに、本学の伝統をなす実践的、実学的研究と基礎的諸科学との融合を図り、学際的研究分野を進展させる。

《中期計画》

- ①—2) 本学の特色を活かし、優れた研究教育拠点の形成を見込むことのできる研究をプロジェクト型研究として設定し、重点的に推進する。

内分泌・代謝学共同研究拠点

【大学の機能強化に向けて、「国際的に卓越した教育研究拠点機能の充実」を推進する取組】

「メタボリック症候群」など社会的に要請の高い内分泌・代謝疾患の共同研究課題を遂行し、創出基盤技術等を共同利用に供することを目的とした共同研究拠点を形成

平成23年度は、24機関、28件の共同研究を実施するとともに、講習会・シンポジウムを開催

《中期目標》

- I 大学の教育研究等の質の向上に関する目標
- 2 研究に関する目標
- (1) 研究水準及び研究の成果等に関する目標

- ① 各専門分野において独創的な研究を世界水準で展開するとともに、本学の伝統をなす実践的、実学的研究と基礎的諸科学との融合を図り、学際的研究分野を進展させる。

《中期計画》

- ①—2) 本学の特色を活かし、優れた研究教育拠点の形成を見込むことのできる研究をプロジェクト型研究として設定し、重点的に推進する。

Ⅱ. 特に重点的に取り組んだ事項

《大学の基本的な目標》

- ① 教育においては、1)教養教育、学部専門教育、大学院教育を通じて、豊かな人間性を備え、広い視野と探求心を持ち、基礎知識に裏打ちされた深い専門性を有する人材を育成する。2)学生の勉学を促進する学習環境と支援体制を整備する。

教養教育の充実

教養教育を中心とした企画立案を担当する「教育企画室」を設置

- | | |
|--------------------|--------------------------|
| 1. 英語教育の充実 | 習熟度クラスを編成、多読プログラムを導入 |
| 2. 少人数教育の充実 | 対話重視の授業「学修原論」を開講 |
| 3. キャリア教育科目の開設 | 「キャリア計画」、「キャリア設計」科目の開設 |
| 4. 「学びのリテラシー」の開設準備 | 日本語能力、論理的思考能力の向上を図る科目を開設 |

保健学研究科の設置

より実践的かつ高度な教育研究体制を構築するため、医学系研究科から分離・独立し、保健学研究科を設置

群馬県立県民健康科学大学との連携大学院

医学・生命科学的基盤と放射線医科学的基盤を融合した学際的教育研究分野の大学院教育研究を連携して推進するため、大学院教育研究連携協定を締結

《大学の基本的な目標》

- ② 研究においては、1)各専門分野で独創的な研究を展開する。とりわけ重点研究領域において国内外の大学・研究機関と連携して先端的研究を推進し、国際的な研究・人材育成の拠点を形成する。2)基礎的研究と応用的、実践的研究との融合を図り、産業界や自治体等との共同研究・共同事業を推進する。

重粒子線臨床研究の推進 (再掲)

ケイ素・炭素を基軸とする新規学術分野の創成 (エレメント・イノベーション) (再掲)

グローバルCOEプログラム (再掲)

内分泌・代謝学共同研究拠点 (再掲)

《大学の基本的な目標》

- ③ 社会貢献においては、1)地域の知の拠点として、学内外関係機関との連携した活動を通じて文化を育み、豊かな地域社会を創るために活動する。2)知の地域社会への還元を推進し、産業発展に貢献する。3)地域医療を担う中核として、医療福祉を向上させる。4)地域住民の多様な学習意欲や技術開発ニーズに応え、地域社会の活性化に貢献する。

デジタルを活かすアナログナレッジ養成拠点 (再掲)

《大学の基本的な目標》

- ④ 大学運営においては、1)学長のリーダーシップの下で経営戦略を明確にし、教職員の能力を引き出し、自主性・自律性を持って効率的な大学運営にあたる。2)学内での情報の共有化と社会に対する情報発信を促進する。3)不断の点検・評価と改革を推進し、大学の活力を維持発展させる。

学長裁量経費による教育研究、社会貢献等の推進

教育・研究プロジェクト、若手・女性研究者の研究、社会貢献事業等を推進

教職員定員管理の推進

23年度以降の教職員定員削減計画 (23~27年度) を策定